

移動手段の確保対策の取組みについて

取組の目標

- ◇ 中山間地域において、市町村が行う地域内交通の見直しとそれに伴う新たな移動手段の導入に向けて、関係機関と連携し、各種の研修会の実施や個別相談等による積極的な支援を行い、地域の実情に合った移動手段の確保につなげる。

【現在、対策を検討中又は検討予定（11市町村）

→ 新たな移動手段の導入への支援】

取組の内容

（1）市町村の取組みに対する支援

ア 中山間地域生活支援総合補助金（移動手段確保支援事業）：中山間地域対策課

平成 27 年度当初予算 10 市町村等 44,861 千円

（仕組みづくりのための調査、市町村営バス車両購入・更新、待合所整備 等）

＜自家用有償運送運転者資格取得講習受講料の補助＞

過疎地有償運送等の運転者の人員確保にかかる負担を軽減するため、運転者資格取得講習会の受講料の一部を補助する。

イ 地域の交通維持支援事業費補助金：交通運輸政策課

平成 27 年度当初予算 9 市町村 40,422 千円

（公共交通利用促進対策、民営バス車両購入、実証運行 等）

（2）研修等による支援

ア 中山間地域における移動手段確保対策研修・情報交換会

市町村職員等を対象に、国等による法制度の説明や先進地の事例発表、グループワークを通じた情報交換等を行うことで、今後の取組みにつなげる。

・ 7 月の上・中旬、1 月の中・下旬の 2 回開催を予定（愛媛県とも連携して実施）

イ 先進事例視察研修会

先進的な取組みを行っている県内外の自治体を訪問し、実際の運行ルート等を視察しながら事例発表を聞き、学ぶことで今後の取組みにつなげる。

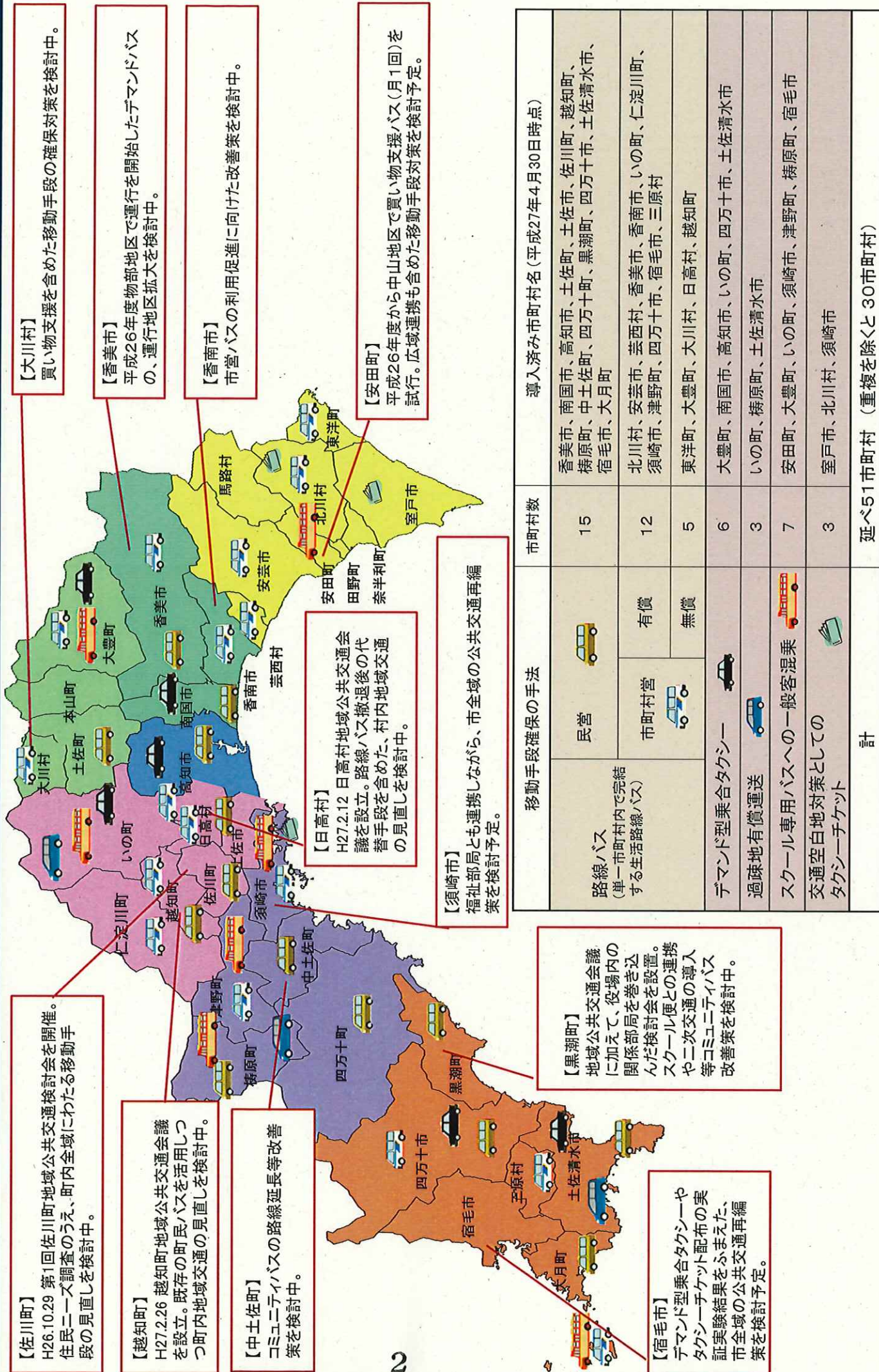
・ 7～8 月頃開催を予定

（3）アドバイザーによる支援

移動手段の確保対策に関するアドバイザー（学識経験者、高知運輸支局担当職員、NPO 等）を委嘱し、新たな取組みを検討している市町村に対し、課題解決に向けた助言を行う。（7 名委嘱予定）

「移動手段の確保対策」市町村の取り組み状況

平成27年4月末現在



【佐川町】
H26.10.29 第1回佐川町地域公共交通検討会を開催。住民ニーズ調査のうえ、町内全域にわたる移動手段の見直しを検討中。

【越知町】
H27.2.26 越知町地域公共交通会議を設立。既存の町民バスを活用しつつ町内地域交通の見直しを検討中。

【中土佐町】
コミュニティバスの路線延長等改善策を検討中。

【大川村】
買い物物支援を含めた移動手段の確保対策を検討中。

【香美市】
平成26年度物産部地区で運行を開始したデマンドバスの、運行地区拡大を検討中。

【香南市】
市営バスの利用促進に向けた改善策を検討中。

【安田町】
平成26年度から中山地区で買い物支援バス(月1回)を試行。広域連携も含めた移動手段対策を検討予定。

【日高村】
H27.2.12 日高村地域公共交通会議を設立。路線バス撤退後の代替手段を含めた、村内地域交通の見直しを検討中。

【須崎市】
福祉部局とも連携しながら、市全域の公共交通再編策を検討予定。

【黒潮町】
地域公共交通会議に加えて、役場内の関係部局を巻き込んだ検討会を設置。スクール便との連携や二次交通の導入等コミュニティバス改善策を検討中。

【宿毛市】
デマンド型乗合タクシーやタクシーチケット配布の実証実験結果をふまえた、市全域の公共交通再編策を検討予定。

移動手段確保の手法		市町村数	導入済み市町村名(平成27年4月30日時点)
路線バス (単一市町村内で完結する生活路線バス)	民営	15	香美市、南国市、高知市、土佐町、土佐市、佐川町、越知町、梶原町、中土佐町、四万十町、黒潮町、四万十市、土佐清水市、宿毛市、大月町
	市町村営		北川村、安芸市、芸西村、香美市、香南市、いの町、仁淀川町、須崎市、津野町、四万十市、宿毛市、三原村
デマンド型乗合タクシー	有償	5	東洋町、大豊町、大川村、日高村、越知町
過疎地有償運送	無償	6	大豊町、南国市、高知市、いの町、四万十市、土佐清水市
スクール専用バスへの一般客混乗		3	いの町、梶原町、土佐清水市
交通空白地対策としてのタクシーチケット		7	安田町、大豊町、いの町、須崎市、津野町、梶原町、宿毛市
計		3	室戸市、北川村、須崎市
			延べ51市町村(重複を除くと30市町村)